

九州大学 薬学部 2023年度・アンケート

●6年制学科のカリキュラムの特色

高度な医療薬学の基盤的および臨床的研究・教育を通じて、臨床現場から見出される諸問題に関わる実践的な研究・実務能力の高い薬剤師を養成する目的で、臨床薬学科4年次から、より専門的な医療薬学系の科目や薬剤師の職能教育に必要な実践的な薬学系科目を履修する。その中でも、実務実習プレ実習(4年次開講)におけるバイタルサインの取り方の修得や、最新鋭の高性能機器を利用した薬物治療モニタリング(Therapeutic Drug Monitoring)測定実習等、薬学教育モデル・コアカリキュラムにはない九州大学独自の内容を取り入れている。また、このような実務教育においては、九州大学病院との密接な連携体制のもとで行っている。

●病院実習先・薬局実習先

九州大学病院 1カ所
あかり薬局九大前店など 29カ所

●アドバンスト(臨床)実習

科学的根拠に基づいて臨床現場での問題点を解決できるようになるために薬局・病院実務実習での体験や医療を取り巻く国内外の状況の中から問題点を抽出し研究計画の立案や調査を行うアドバンスト実務実習を実施している

●多職種連携教育の具体的な内容を教えてください。

4年次開講の「チーム医療演習」では、医師、薬剤師間の連携を主題とし、それぞれの職種を目指す学生が、将来、十分な連携のもと、薬物治療における副作用の早期発見・早期治療ができるようになるために、それぞれの実習において、担当した患者の薬物治療における副作用モニタリングの訓練を開始できる能力を修得することを目的としている。

●薬剤師国家試験への取り組み

模擬試験により学習の進捗状況を把握し、臨床薬学教育センター教員による個別指導を実施している。また、外部講師による特別講義を実施する等、薬剤師国家試験に関する学習支援を行っている。

●卒業研究について

6年制 基礎研究、調査研究やケーススタ

ディなどを通して、根拠に基づく医療貢献能力、高い創造性と倫理性、問題発見・解決型の能力、論理的思考力、生涯にわたり学び続ける意志と能力を養うことを目的に、学部3年後期～6年に実施する。各学生の配属分野先の専門研究に従事し、研究成果をまとめ、学部6年次に卒業研究発表会(口頭ならびにポスター)を行う。

4年制 3年次後期から研究室に所属し、教員の指導の下で最先端研究(卒業研究)に取り組み、研究を行う過程で実験科学の方法論を学ぶ。卒業研究は創薬研究者としてのスタートであり、修士課程進学への導入課程と位置づけている

●4年制の教育目標・育成する人材を教えてください。

学部専攻教育を大学院修士課程との6年一貫教育の前段部分として捉え、大学院との一貫性・連動性を特に考慮した教育内容の編成を基本としている。したがって、科目選択の自由度を取り入れるなど、創薬や健康に関する様々な科学に関する知識的、思想的教育と並行して、実験・実習による技術的体験、演習による実体験を与えることにより、思考力と実践力の統一を図り、課題探求能力の向上を目指す。

●4年制のカリキュラムの特色、独自の取り組み

国際コースを設置し、国際化に順応できる人材を育成している。

●入試に変更点がございますか。

変更ありません。

●WEB上に、過去問を公開していますか

公開していません。

●大学独自の奨学金制度

http://gakumubu.jimu.kyushu-u.ac.jp/sc_holarship/other-scholarship-new/

●オープンキャンパスの日程

●九州大学オープンキャンパス

日程:2023年8月7日

開催方法:対面・オンライン併用

内容:未定